

成功する事業相続の戦略

「経営のやり方を、どのような方法で伝えるかが7割を占める。」
 「ユダヤ人の事業相続法を知ると意外なヒントがつかめる。」

創業社長が亡くなったあと二代目が後を継いだのはいいが、放漫経営のため7回忌の法事も迎えないうちに倒産してしまった。こういう話はよく聞きます。こうなったのでは、苦勞して会社を育て上げた創業社長は浮かばれないでしょう。こうならないためには、早目の対策が必要になります。

1. 事業継承のセミナーや本で説明されている内容をみると、ほとんどが相続税など税金の話になっています。これも必要ですが、事業相続全体では30%もありません。これは「子供には魚を与えるな、釣り方を教えよ」の教訓が示すとおりです。
2. 世界の中で、経営が1番上手なのはユダヤ人でしょう。ユダヤ人は事業を興して成功すると「自分はなぜ経営に成功できたか」について、時間をかけてジックリと考えます。そして経営で最も大事と思われるものを、13項目に集約します。

そのあと1項目ごとに、なぜこれが必要であるかを「ことこまかく」説明を加えるので、文章の量はビジネス書1冊分ぐらいになります。これがその人の成功哲学になるわけです。成功哲学が完成するとこれを子供に伝えるのですが、そのやり方はとても変わっています。

目 次	
第1章 ユダヤ人の経営相続法 1. 相続する大事な要因の明確化とウエイト付をする 2. 財産の相続対策 3. 何歳まで他社で経験を積ませるか 4. 戦略知識と経営技術の相続対策 5. ユダヤ人の経営相続法 6. ユダヤ人の強さは考える日を持つことにある 7. 経営原則をまとめる手順	第2章 弱者の戦略を伝える 1. 経営を構成している大事な要因をはっきりさせる 2. 利益性を決定付ける原則をはっきりさせる 3. 戦略的1位になると利益性が特別良くなる 4. 1位作りの実行手順と戦略 5. 戦術社長は多いが戦略社長は少ない 6. 強者の戦略と弱者の戦略 7. 業績の何割が社長の経営実力で決まるか 8. 実行力の高め方をまとめる 9. 時間の使い方と質の高め方

成功する事業相続の戦略
 定価 **13,200円**(税込)
 2巻。2時間12分。テキスト付



1938年生。久留米市出身。福岡大学経済学部卒。建材メーカーで経理と営業を担当後、28歳のとき企業調査会社に転職。中小企業の信用調査と倒産会社の取材を担当。35歳のときにランチェスター法則と出会い、以来同法則を経営全体への応用を研究。44歳のときにランチェスター経営を創業。講演は4300回に。イギリスへの墓参りは7回になる。

お申し込みは、FAXで。代引で出荷。 メールアドレス customer@lanchest.com

ご住所	〒			業種		従業員	人
会社名	役職	ご氏名	様				
TEL	FAX						

ランチェスター経営(株) 〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8-301 TEL 092-535-3311
 制作 竹田陽一 HPは <http://www.lanchest.com/> FAX 092-535-3200

事業相続の戦略